

いきがい

平成10年9月 第3号

発行日：平成10年9月1日（年2回発行）

発行者：社団法人 南足柄市シルバー人材センター

企画・編集：総務部会

発行所：〒250-0105 南足柄市関本403番地2りんどう会館3F

Tel.0465-72-0789 Fax.0465-73-4055 インターネットアドレス：<http://www.ny.airnet.ne.jp/msc/>

理事長あいさつ

渡辺 治美

会員の皆様お元気でご活躍の由、何よりのことと存じます。

この度、理事会において、はからずも推薦により理事長という大役をお受けすることになりましたが、到底私としてはその任ではございません。しかし私を取り巻く優れた理事さんのご支援や、会員各位のお力添えによって社会に貢献できるシルバー人材センターの運営に鋭意努力して参りたいと思えます。宜しくご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

人が変われば内容も変わって然るべきで、より良い方向に変わってこそ進歩発展があるものと考えています。運営に当たっては常にシルバー人材センターの基本となる高齢者が身につけてきた知識や能力、技能を社会に還元し、多くの友を得て楽しい触れ合いを持ちながら、生きがいのある人生を送ることが出来るよう計画し、方法を見出して行きたいと思っています。それには事務局の皆さんが一人一人責任を持って職務を遂行され、理



事の皆さんには忌憚のないご意見を気軽にいただいただき、十分話し合っってより良い方向を出しながら、実践へ結びつけて行きたいものです。

また、会員の皆さんにも作業上や運営面においてご意見やご要望等があれば、率直に理事や事務局の方へ申し出て下さい。理事会や専門部会等にはかって検討し善処したいと思います。

いずれにせよ仕事を成し遂げるためには、何と云っても健康が第一です。健康保持には十分留意され、安全管理も怠らず、何時も心身共に清新な気持ちで充実した毎日を送り、社会の期待に応えられるよう頑張っっていただきたいと願います。

ぎんいろ かわら版

平成10年 第1回 通常総会報告



第1回 通常(予算)総会が平成10年3月26日(木)に共学館大会議室において開催されました。会議は、理事長あいさつ、議長選出の後、議事に入り、第1号議案「平成9年度補正予算」、第2号議案「平成10年度事業計画」、また正会員会費の値上げ(1,000円から3,000円へ)を含む第3号議案「平成10年度収支予算」(予算総額：1億5,087万円)が満場一致で可決承認されました。

議事終了後、多年に亘りセンター事業に貢献された功績をたたえ19名の会員の方が表彰されました(下記)。総会の最後に、平成2年に入職し、平成5年より5年間、事務局長として勤められた矢後前事務局長より退任のあいさつがありました。

会員表彰

センターの趣旨に添い会員間の協調を図り、優れた成績で6年以上就業されました。(平成3年度入会)

市川 輝行	遠藤 久子	大橋 暁美
尾崎 恩乃	加藤ナミ子	加藤 美子
川口 友市	清水 豊市	関野 園子
津田 備佑	内藤よし子	中村 昭子
藤沢 京治	古沢ヨシ子	星崎 恒治
森 正夫	森谷安城子	八木沢こう
山中きくよ		

平成10年 第2回 通常総会報告

5月21日(木)には平成9年度の事業報告(契約金額：1億2,231万円、受注件数：932件、就業延人員：26,797人日、就業率：89.2%)、決算報告、平成10・11年度の役員を選任を議案とする通常総会が開催されました。

この4月に赴任された二見事務局長の開会のことば、夏苺前理事長のあいさつ、来賓として鈴木市長の祝辞の後、加藤角二理事が議長に選任され、議事に移り、上記の三議案が提案され、議長採決の結果、全議案とも満場一致で可決承認されました。

新役員を選任の後、全員が就任を承諾し紹介され、別室において三役(理事長・専務理事・常務理事)の選任が行われ、理事長に渡辺治美氏、専務理事に湯川喜久雄氏、常務理事に二見啓氏が就任されました。以上で議事は終了し、夏苺前理事長の退任のあいさつ、渡辺理事長の就任のあいさつがありました。



また、生きがい事業団理事長からシルバー人材センター設立発起人、センター理事長と、多年に亘りセンター事業のためにご尽力された夏苺前理事長をはじめ、岩田充理事、小澤正志理事、吉田勇三理事の退任にあたりその功績に対し表彰がありました。

健康・笑顔・充実感は働く高齢者の大きな報酬

公園クリーン作戦

第7回 ボランティア活動

去る、6月30日(火)午前10時から市内和田河原の東部工業団地テクノネット湘南の一郭にある要定川ふれあい公園とその周辺道路にて奉仕で参加してくれた会員55名が真夏を思わず日差しの中、除草作業と空き缶・空き瓶の回収を行いました。当日、刈り取った雑草やゴミは、ゴミ袋にして70袋、軽トラックに2台分になりました。



渡辺理事長は、新聞社の取材に対し「この奉仕作業には、健康であること、仲間とふれあうこと、地域社会に貢献すること、楽しく仕事することといったシルバー人材センター事業の大きな目的が集約されている。」と話しておられました。

参加会員にはお弁当が配られ12時に解散となりました。皆様、本当に暑い中ご苦労様でした。

次回は、10月に実施の予定です。今回参加できなかった会員の皆様も是非参加してください。

シルバーQ&A

総会は、なぜ2回やるの？

センターは会員が構成員となっている公益社団法人であり、会員の総意によって運営されることが基本になっています。総会は、会員全体の意志が直接反映される場としてセンターの最も重要な会議です。

「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律施行規則」により、県知事の指定を受けたセンターは、事業計画を毎年度開始前に、事業報告を年度終了後3ヵ月以内にそれぞれ県知事に報告することとなっております。したがって、法令で定められた事項を確実に履行するために年2回の総会開催が必要となるわけです。

新役員紹介

理 事

(任期:平成12年3月31日まで)

役 職	氏 名	専 門 部 会
理 事 長	渡 辺 治 美	
専務理事	湯 川 喜 久 雄	総務
常務理事	二 見 晉	事業
理 事	飯 田 義 市	総務・部会長
理 事	佐 藤 嵩	事業
理 事	月 村 常 男	総務・副部会長
理 事	小 松 岳 雄	事業・部会長
理 事	加 藤 角 二	事業・副部会長
理 事	鋤 持 和 子	総務
理 事	矢 後 良 一	事業
理 事	米 山 和 男	事業
理 事	遠 藤 春 雄	総務
理 事	佐 藤 宗 雄	総務
理 事	杉 山 薫	総務
理 事	古 屋 一 夫	事業
理 事	三 橋 眞 治	事業

監 事

(任期:平成12年3月31日まで)

役 職	氏 名	備 考
監 事	内 田 明 男	
監 事	高 井 春 芳	

部会長より一言

センターの未長い存在と発展を願う

総務部会長 飯田 義市

このところ高校野球のもつプロとは違った真剣さに魅せられてか、暇さえあればテレビを覗いている今日此頃である。

甲子園の熱気にあふれた情景とはうらはらな長い景気の低迷も、新内閣が誕生にあたって演じた三国志もどきの蔵相招聘劇や経済戦略会議など首相の経済再生にかける真摯な態度に国民の一人として景気の回復も遠からじと希望をよせているところであります。

シルバー人材センターの運営が景気の動向に深いかかわりのあることは衆知の通りで、只今景気のどん底にもかかわらずセンターの活動状況を示す各種のデータが他に比べて良好なのは設立以来センターにかかわった役職員・会員の遺産があればこそと感謝をしているところであります。

健康で働く意欲のある高齢者にとって失業率が4%を超えるという就業がむずかしい今日でも臨時的で短期的であれ働く機会を確保して提供してくれるセンターの存在は重要で、未長く機能が持続出来るようにつとめることが其の時に関係する人達の責務かと思えます。

働けることのありがたさに感謝

事業部会長 小松 岳雄

昭和も平成に変わりシルバー人材センターに入会し、十年が過ぎようとしています。

健康で働くことのありがたさに感謝し、我が年齢と共に月日の早さをつくづく感じております。

事業部会長に推薦され責任の重さにとまどいましたが、事務局を始め会員の皆様と

いっしょに、本年度は新規事業の開拓・適正な就業を目途としシルバー発展の為、努力して参りたいと思います。未熟ではございますがよろしくご指導の程お願い申し上げます。

安全管理委員会便り

安全管理委員会

役職	氏名	備考
委員長	小松 岳雄	理事
副委員長	川口 友市	会員
委員	古屋 一夫	理事
委員	大沢 貞夫	会員
委員	二見 晉	事務局

会員皆様の日頃の安全に対する心構えのおかげを持ちまして、平成9年度は事故件数が0件という、大変喜ばしい結果となりました。今年度は軽微ながら既に事故が何件か報告されております。安全管理委員会としては事故の分析、就業場所のパトロールといった安全策を講じると共に、研修会等での安全の喚起など理事会と連携をとって再発防止に努めます。しかし最善の事故防止策は、会員一人一人が各々の年齢、仕事に対する慣れなどを再認識し、「安全就業」を心掛けることが必要と思われまます。

今年の全シ協の全国統一スローガンは、『**目指そう無災害、一人一人の安全意識**』です。くれぐれも注意して就業してください。

● 編集後記 ●

7月発行予定の会報が、2ヵ月遅れてこの時期になったことをお詫びいたします。次回の発行は1月1日を予定しておりますが、3月頃に「あけましておめでとうございます」にならない様にしたいと思っております。(た)